



次期の見通し(2019年3月期)

売上収益

2,770億円 前期比 **5.8%増**

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、薬価引き下げの影響はあるものの効能追加された腎細胞がん、頭頸部がん、胃がん等での使用拡大を図ることにより、ほぼ横ばいの900億円を見込んでいます。一方で、ロイヤルティ収入の増加、およびその他の主要新製品での売上拡大を見込んでいることから、次期の売上収益は前期比152億円(5.8%)増の2,770億円を予想しています。

営業利益

615億円 前期比 **1.3%増**

持続的な新薬の創出に向けて積極的な投資を行っており、研究開発費の増加を見込んでいます。また、オブジーボ関連の活動経費の増加などにより、販売費及び一般管理費の増加も見込んでいることから、次期の営業利益は前期比8億円(1.3%)増の615億円を予想しています。

税引前当期利益

650億円 前期比 **1.7%増**

金融収支は前期比3億円増の35億円を見込んでおり、次期の税引前当期利益は前期比11億円(1.7%)増の650億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

505億円 前期比 **0.4%増**

税引前当期利益が11億円増加することを見込んでおり、次期の親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比2億円(0.4%)増の505億円を予想しています。